

- ・対象地域：森町 砂原地域
- ・地域人口：4,543人(平成22年現在)
- ・漁港：砂原漁港(第3種)
掛澗漁港(第1種)、沼尻漁港第1種
- ・漁業就業者：464人(平成22年現在)

北海道 砂原地域マリンビジョン

～砂原漁港から見える安心・安全と工夫～

－ 美味 北海道砂原の海から －

(平成26年3月策定)

- 拠点漁港のタイプ
- 衛生管理拠点漁港
 - 流通拠点漁港

拠点漁港



航空写真



スケトウダラ網外し活動



水産加工



ホタテ

地域の資源等



【位置図】

現状と課題

現 状	○漁業と水産加工業が基幹産業
	○水産物の価格安 ○天然水産物資源の減少 ○低次加工による旧体制経営の水産加工業 ○加工原料の減少
課 題	○資源管理とつくり育てる漁業への取組強化 ○水産物流通の衛生管理と販売強化 ○地場製品のブランド化 ○低次加工の転換と加工業者の意識改革 ○地域内の異産業との連携強化 ○高齢漁業就労者の再雇用の場づくり ○漁獲物の安定供給による販路拡大

地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

砂原地域は水産業を核として、地域産業が相互に協働・連携し、地域生産品のブランド化を図り、ブルーツーリズムとグリーンツーリズムを組合せた地域独自の観光戦略を実施すると共に、核となっている水産加工業の高次加工への取組み、消費者への水産物安定供給を目指し、都会人が購買等により、砂原水産物に関わりを持つ事で、漁業と砂原地域に関心を抱くようなまちづくりを目指す。

①砂原産水産物ブランド化と販売力強化及び次世代への継承

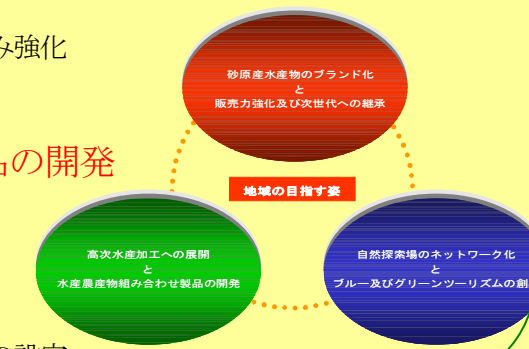
- ・地域資源を使用した食育活動の実施と衛生管理型漁港の取組み強化
- ・水産物のブランド強化・販売力増産体制の推進

②高次水産加工への展開と水産農産物組合せ製品の開発

- ・高次加工による製品開発の推進及び、二次産業の創出

③ブルー及びグリーンツーリズムの創出

- ・各種体験観光の推進と自然景観環境の構築及び、観光ルートの設定



地域マリンビジョン協議会

- 事務局（北海道森町役場水産課）
- マリンビジョン協議会（上位組織）
漁業者、観光協会関係者、加工業者、町行政関係者、北海道大学水産学部（参与）
- オブザーバー：北海道開発局・道水産部
- マリンビジョン・プロジェクトチーム
（下部組織：重点PJに対応した3部会で構成）
漁業者、漁協職員、農業者、加工業者、観光協会関係者、町行政関係者、商工関係者、北海道大学水産学部

地域資源(特徴)

【主な地域資源等】

- ホタテ貝・スケトウダラ・アカガレイ・ポタンエビなど多様な水産物・ジャガイモ・都南瓜・トマト等多様な農産物
- 道の駅(つど〜る・プラザ・さわら) 限定商品など
- さわらふるさとまつり・漁業者の直販イベント
- さわらフラワーロード(町民参加のボランティア)

漁港の将来像

- ① 防風雪防護と衛生管理の対応(屋根付き荷捌用地)への機能整備
- ② イカ釣り外来船受け入れの機能整備
- ③ 防災拠点漁港としての機能整備
- ④ 防波堤用地整備による沖合展開型漁港の整備
- ⑤ 流通拠点漁港としての機能整備

ビジョン実現のための主な取組み

- 大都市での北海道物産展への出展を推進し、販路拡大を図る。
- 町内の小学校で食育出前講座を展開・一般向け魚の捌き方等を教える出前講座を展開。
- 漁協役職員の意識改革と強い指導力の促進。
- 生産者と加工業者がコラボし、農産物と水産物を組合せた商品開発。
- 農業と漁業、加工業でのツーリズムの確立。
- 漁業者・加工業者・各種団体との連携と協同強化。